

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和5年度 海津特別支援学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和5年 10月26日（木） 13:00～15:00
- 3 開催場所 海津特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会長	児玉 泉	民生委員（主任児童委員）（欠席）
副会長	大橋 恵美子	共同生活援助 れんげの家 所長（欠席）
委員	水谷 芳郎	有限会社吉野屋 代表取締役
	白旗 徹	障がい者センター あいさんハウスぎふ施設長
	細井 豊年	海津市平田町今尾地区 前区長
	飯田 かゆ美	海津市更生保護女性会 会長（欠席）
	田内 和子	輪之内町発達支援教室そら 管理者（欠席）
	鈴木 智世	海津特別支援学校 PTA会長
学校側	高橋 圭子	校長
	平松 均	教頭
	岩田 成生	事務長
	渡邊 智美	小学部主事
	岡田 里香	中学部主事
	馬淵 陽子	高等部主事

5 会議の概要（協議事項）

（1）学校運営について

- ① 授業参観（命を守るショート訓練及び、5時間目授業）
- ② 本校の現状説明
- ③ 学校評価アンケート結果説明
- ④ 各部の状況、児童生徒の様子

（2）委員からの意見

意見1： 小学部、中学部、高等部の順に授業参観をしたことにより、児童生徒が成長していく様子がよくわかった。英語の授業も見たが、順序だてて丁寧に行われていた。授業参観の最初に避難訓練を見ることができた。災害への備えは大切である。今回の訓練は児童生徒に細かくは告知していなかったようだが十分な訓練成果を得たと思う。

学校評価アンケートに「分からない」と回答する人数が目立ったが、体裁を取り繕うのではなく、正直に「分からない」と回答したのだと思う。いくら説明しても実感として分かりにくいことはある。学校評価アンケートの結果は極めて良好なので、学校が現状を維持していくことを願っている。

意見2： 特別支援教育は教育の原点と聞いている。カリキュラムや指導要領など、様々な規定の中で教育は行われているのだろうが、それを実現しているのは、粘り強い指導を行う先生方の

力であると感じた。避難訓練も参観したが、地震を知らせるアラーム音は大人が聞いても恐ろしい。泣く児童もいたが同然の反応だと思う。伊勢湾台風でも海津市は大きな浸水はなく、それ以降の台風や大雨でも被災体験がない地域である。訓練の際に全身で反応し身構えることができる本校の児童生徒よりも、防災設備に安心しすぎている海津市の社会人の方が、災害耐性が低いのではないかと感じることもある。

本校を小学部に入学すれば、多くは高等部になれば卒業し、地域で生活することになる。県立の特別支援学校であるが、地域の学校として地域との関わりを重視し、地域行政を巻き込んだ取り組みが必要だと感じている。

校長： 地域との関わりを重視しており、生徒の進路についても行政との連携を模索している。

意見3： 私は放課後のデイサービス施設を運営している。本校の児童生徒の利用者も多く、地域の成人の方も受け入れている。本年度は学校との相互見学を実施することができた。避難訓練は年2回行っており、地域の皆さんを交えて行うこともある。予告なしの訓練では利用者よりも職員が混乱することもあった。

デイサービスの設備を壊してしまう利用者を見ることもあるが、手厚い支援を受けられる施設の中では何をしてもよいという感覚ではなく、成長に応じた感覚、身の回りの品物を大切にする姿勢を身に付けていただきたいと考えている。

意見4： 体育の授業を参観した。屋内は危険なのですぐに外に出る指示を教員が出していた。生徒の動きや様子も確認し、臨機応変に適切な対応が行われていた。その後、高等部の教室から参観し、検定試験に向けてパソコンを用いて学習する様子も見ることもできた。

会議のまとめ

- ・第2回学校運営協議会では、学校評価アンケート結果の説明と各学部の活動説明を行った。
- ・学校運営協議会委員の皆さんからのご意見を真摯に受け止め、学校運営の改善を図りたい。
- ・第3回は令和6年2月1日（木）を予定している。